

高知くらしの護身術

141

マルチの落とし穴

利殖商法で被害も

(2009年8月18日掲載原稿)

警察の摘発や強制捜査を受けている「高配当をうたい出資を募る悪質な利殖商法」の多くは、口コミで短期間にお金を集めるためマルチ形式をとっています。最近報道された「年金たまご」はマルチそのもので、FXの「アライド」のように一部のメンバーに紹介料が支払われるといったものもあります。

マルチ商法は、人を紹介するたびに紹介料がもらえ、紹介者が新たな人を紹介したり商品を購入すると配当が得られるといった仕組みの商法で、ネットワークビジネスとも言われています。

マルチ商法の実態は不明ですが、かなりの人が関わっていると考えられます。商品が気に入らず会員でないと購入できないため入会している「愛用会員」や知人に勧められ仕方なく入会している人、ビジネスとして入会している人など様々と思います。

マルチ商法は、会員を増やさないと収入につながらないので、一生懸命勧誘しますがなかなか収入にならず、簡単に儲かると嘘の説明をされたと相談に来る人もいます。

つまり、サイドビジネスとしてマルチを始めたのにうまくいかない人が沢山いるということです。

マルチ商法に関わっている人に注意してほしいのは、健康食品や化粧品等のマルチ会員の誰かが悪質な「利殖商法」と接点を持った時、マルチ組織の中で被害が急速に拡大しているということです。利殖商法の被害の大半は、知人や身内からの勧誘です。

特に、マルチがうまくいってない人は、「今度こそ大丈夫」、「絶対、損を取り返せる」といった勧誘には気を付けてください。